

陸上自衛隊健軍駐屯地内「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」の  
保存要望書の第二弾提出について

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生

1 標 題 陸上自衛隊健軍駐屯地内「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」  
の保存について(要望)

2 日 時 令和8年 2月25日(水) 14時00分～14時50分頃 ※最大50分間

3 場 所 熊本県庁本館4階 県政記者室 会見室

4 参加団体・参加者

□くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生 幹事 戸寄 孝行

□合志の近代遺産を学ぶ会 代表 上田 欣也

「黒石原飛行場奉安殿」の現地保存、地域の近代化遺産の歴史検証と啓発

[ 欠席 ] □荒尾二造市民の会

「荒尾二造変電所」の現地保存、荒尾二造平和資料館の開設、地域の諸学校での平和学習の  
展開、HPによる活動啓発

[ 欠席 ] □菊池飛行場を未来に伝える会

「花房給水塔」の菊池市文化財指定、菊池飛行場ミュージアム設立と運営、菊池市内諸学校  
での菊池市教育委員会との連携による平和学習、義烈空挺隊の歴史検証、Xによる発信

[ 欠席 ] □戦争遺跡保存全国ネットワーク ※ZOOM環境未整備のため、今回は欠席

1997年設立「戦争遺跡から平和を学ぶ」「二度と戦争遺跡を作らせない」ことを大切に  
して、「戦争遺跡を史跡・文化財に」、「語り伝えよう戦争」の活動を展開中。全国から37団体が参  
加して運営。2019年、第23回戦跡保存全国シンポ熊本大会「軍都熊本の戦争遺跡」を開催

5 内容・進行 等

(1)開会及び全体進行 ……戸寄

(2)関係者自己紹介・団体活動の紹介

(3)「要望書」読み上げ及び「戦争遺跡保存の意義」等について……上田代表から読み上げ、会の説明

(4)「熊本航空機製作所及び同第一組立工場」重要性、「市民見学会」必要性 ……高谷

(5)質疑応答、その後で閉会

6 要望書提出先及び要望事項

(1)陸上自衛隊西部方面總監 鳥海誠司 様

要望事項 ……①「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」の現地保存

②「同 第一組立工場市民見学会(仮)」開催の協力

③「同 第一組立工場」事業計画の提出と協議 令和8年4月末日までに回答

(2)熊本県知事 木村 敬 様、熊本県教育長 越猪浩樹 様、熊本市長 大西一史 様

要望事項 ……①「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場」の事業調整

②「同 第一組立工場市民見学会(仮)」開催の支援

7 概要 等

(1)熊本を代表する戦争遺跡 11/27版「三菱重工業熊本航空機製作所と同第一組立工場」歴史概要

□当地熊本での太平洋戦争期の「戦争実相」を知り、「平和の大切さ」を後世に語り継ぐ戦争遺跡・建物

□三菱重工業熊本航空機製作所は、1942年6月15日名古屋航空機製作所の最新配置図等を用い、熊本の新  
たな産業として健軍に起工され、陸軍四式重爆撃機「飛龍」(キヤ六七)を敗戦までに46機(一部資料は42  
機)を生産した、熊本の航空機産業で最大の施設

□カミク工場の造営、付属飛行場開設での連合軍俘虏労働、勤労学徒の動員、空襲、第一次疎開学校工場、  
第二次疎開地下工場の造営、朝鮮半島出身者による徴用、本土決戦の準備、戦後の民营企业、一部は自衛  
隊施設としての利用、多くは公共施設・学校・住宅地としての平和利用

□くまもと戦跡ネット発行 平和継承リーフレット『健軍飛行場』

熊本(健軍)飛行場と三菱熊本航空機製作所との関わり、飛行場概要と新発見掩体、空襲他

□同 『戦後70年 くまもと戦争遺産ガイドマップ』

熊本県内33箇所概要を報告。市内戦争遺跡では熊本城・大江地区の他「三菱熊本製作所」をまとめて報告

(2)本遺跡・建物は熊本県・熊本市の近現代史を理解する上で、欠くことのできない遺跡で、学術上価値の  
高い遺跡・遺産

- 特に、本機の最終組み立てを行った「第一組立工場」は、本工場での航空機生産を現在に伝える最後の「歴史的建物」で、全国的にもほとんど残存例を見ない建物
- 三菱重工業熊本航空機製作所「第一組立工場」は、熊本市東部地域・健軍の街づくりや関連する熊本の航空機産業を伝える「象徴的建物」
- 『熊本市史 通史編第7巻 近代Ⅲ』新熊本市史編纂委員会 2003年
- 『熊本の近代化遺産 上巻 熊本市・熊本県史』熊本まちなみトラスト他 2014年

**(3) 熊本県・熊本市による「適切な事業調整、近代化遺産保存での認識」等**

- 健軍駐屯地「マスタープラン」による、「最適化事業」における「第一組立工場」設計内容の検討
- 今後、設計内容等を適切に判断し「現地での完全保存」、「現地での部分保存」、「部分移設保存」、「部材保存」の方針を立てること →都度の「記録保存」が必要
- 埋蔵文化財包蔵地「健軍藤原遺跡：旧石器」隣接・組立工場横の空地・建物跡まで包蔵しており、組立工場まで広がる可能性は充分想定できる。
- 参考となる県内調査事例として、「大江遺跡(旧十三聯隊営庭)」での「軍事資料廃棄土坑」「廃棄土坑」、健軍飛行場長嶺西二丁目での大型無蓋掩体壕「包含層内」調査、戸島本町での「木製覆屋付土製掩体壕、熊本市南區城南町の隈庄飛行場「油倉庫」調査
- 計画的な事業計画、早急な事業展開にも対応できるような体制整備、行政の「不作為」とならない様に

**(4) 市民見学会の開催**

- 本会等では「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場市民見学会(仮)」を、陸上自衛隊健軍駐屯地様のご協力、県・市のご支援を得て開催したい。
- 見学会の開催時期は、新年度5・6月頃で、土・日曜日の午後。対象者は熊本県民・市民限定の20名程度。希望者多数の場合は抽選し、選外の方は次回以降で対応
- 見学会内容は、健軍駐屯地の広報資料館「鎮西館」、義烈空挺隊慰霊碑、自衛隊殉職者慰霊碑、三菱熊本航空機製作所第一組立工場等の見学・解説
- 概要説明は、各団体での対応とし「熊本の航空機産業概要、熊本航空機製作所概要、三菱熊本工場への空襲被害、各地の疎開工場、健軍飛行場と義烈空挺隊、第一組立工場建物建物特徴」等を予定

**(5) 戦跡保存全国ネット及び建築専門家による事前調査と県・市による記録保存**

- 「第29回戦跡保存全国シンポ高知土佐清水大会」で、旧熊本製作所事例を報告
- 「防衛省自衛隊施設内での旧軍施設保存」を作成中
- 日本建築学会「旧軍施設保存活用特別研究委員会」部会による全国調査を、令和8年4月より開始

**8 その他**

- 陸上自衛隊西部方面総監あて要望書は、2月16日で「健軍駐屯地司令業務室広報」気付で郵送済み
- 熊本県知事・教育長あて要望書は、報道会見終了後で県文化課長へ手渡し
- 熊本市長へは、その後で熊本市文化振興課長へ手渡し
- 次段、3月末には「旧三菱重工業熊本航空機製作所第一組立工場市民見学会(仮)」を、関係団体九団体から要望書の提出予定



□1944年3月18日の熊本製作所工機工場等への米艦載機による空襲 □敗戦後熊本航空機製作所南側全景

**連絡先**

- くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生  
 □自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5  
 □個人携帯 090-1513-5528 □Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp  
 戦争遺跡保存全国ネットワーク 事務局長 幅 国洋  
 □事務局 〒381-1231 長野市松代町松代1461  
 NPO法人 松代大本営平和祈念館内  
 □Tel: 026-214-1557 □Eメール kibonoie@nifty.com